

主な自主防災組織訓練項目

初期消火訓練	応急処置訓練	救出訓練
 <p>「水消火器」により、消火器の使用方法を学びます。 粉末消火剤を使わず水を使用するため、周囲に粉末が飛散しません。</p>	 <p>心肺蘇生法をはじめ、AEDの取扱い方法、また、怪我や骨折をした際の対処の仕方を学びます。</p>	 <p>どこの家庭にもある物を使用して、倒壊建物から救助する方法や、応急担架の作成方法などを学びます。</p>
濃煙体験	防災資機材取扱訓練	火災実験
 <p>人体に影響のない演出用の白煙を発生させ、濃煙中からの避難を体験できる訓練です。</p>	 <p>防災倉庫にある各種資機材の点検、取扱い方法について学びます。</p>	 <p>天ぷら鍋火災、トラッキング現象などを再現し、火災の原因について学びます。</p>
119番通報訓練	防災講話	災害図上訓練 (DIG)
 <p>模擬の災害現場の写真を見ながら、119番通報装置を使用し、適切に災害の状況と場所を伝えられるか訓練するものです。</p>	 <p>消防職員が、それぞれの希望に応じた防災に関する講話を行います。</p>	 <p>大きな地図に、自分達の地域や住まいに潜む危険性を書き込むことで、地域の弱点を「見える化」する訓練です。 ※ 特にお勧めする訓練です。</p>

